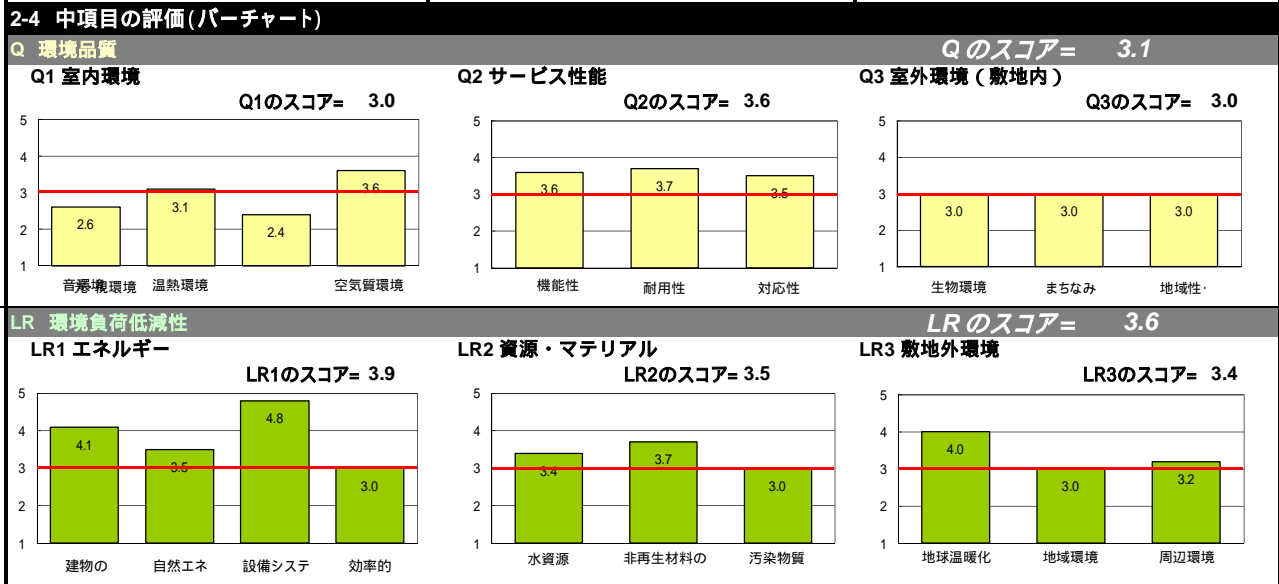
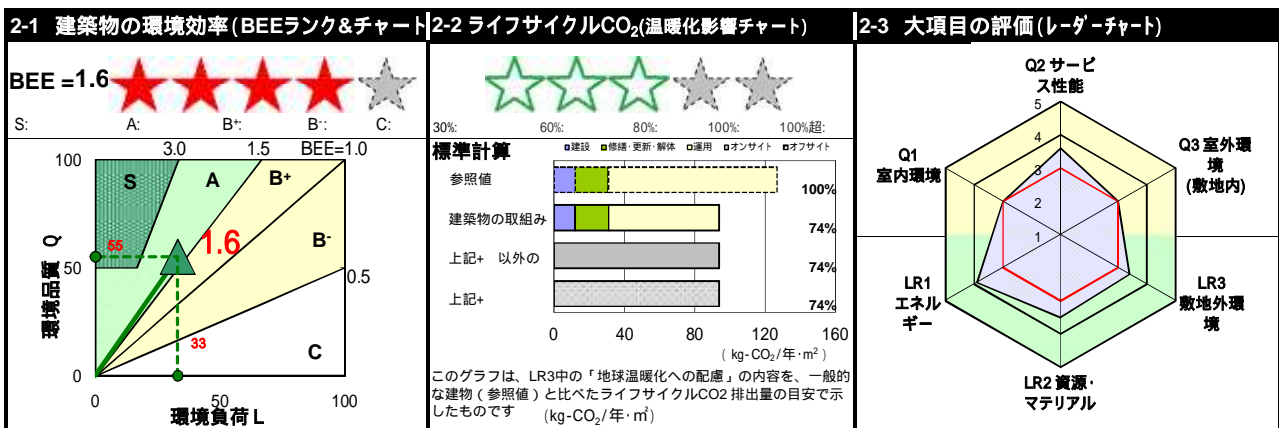


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	茅ヶ崎徳洲会病院(仮称)	階数	地上7F / 地下1F
建設地	茅ヶ崎市幸町14-1	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場, 病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年9月 予定	評価の実施日	2013年4月8日
敷地面積	7,789 m ²	作成者	(株) 梓設計
建築面積	3,749 m ²	確認日	2013年4月8日
延床面積	20,980 m ²	確認者	(株) 梓設計

3 設計上の配慮事項		
総合 ・病院として適正な機能、施設条件を整備した上で、予算内に納める設計とする。 ・茅ヶ崎らしいさわやかさと自然を感じられるデザインにより、地域に親しまれる病院とする。		その他 0
Q1 室内環境 ・十分な採光や冷暖房の自由な使い分けが可能な個別分散空調方式の採用により、快適な室内環境を創出。	Q2 サービス性能 ・1床あたり8㎡以上の病室面積を確保している。 ・バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準を満たし、高齢者等に配慮した計画としている。	Q3 室外環境 (敷地内) ・広場や植栽などの設置により、来院者や地域に潤いを与える計画としている。
LR1 エネルギー ・光庭やトップライトにより廊下にも光が届く計画としている。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具の採用や再生利用可能な材料の選定を行っている。	LR3 敷地外環境 ・日影や騒音など、法的基準を守るだけでなく、従前の病院より悪化することが無いよう配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい